

平成17年8月22日

各 位

会社名	株式会社九州親和ホールディングス
代表者名	代表取締役社長 小田 信彦
コード番号	8340
	東証第一部、福証
問合せ先	総合企画グループマネージャー 小川 正信
T E L	0956-26-4105

会社分割による企業再生支援等への取組み強化について

当社の子会社である株式会社親和銀行（本店：長崎県佐世保市、頭取：荒木隆繁、以下、「親和銀行」）では、平成17年8月22日の取締役会において、「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を踏まえた「事業再生に向けた積極的取組み」の一環として、会社分割を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、分割後の子会社では、外部投資家の企業再生支援ノウハウを取り入れ、集中的な企業再生支援等に取り組んでまいります。

記

1. 概要ならびに取組趣旨

親和銀行では、企業再生支援等への取組み強化策として、関係当局の認可等を前提に、平成17年5月13日に設立した親和分割準備株式会社（以下、「本件子会社」）との間で、簡易・吸収分割の形態により、平成17年9月27日を分割期日とした会社分割（以下、「本件会社分割」）を行い、親和銀行の管理部特別管理室が所管する顧客の債権管理・再生支援・回収業務その他関連業務に関する営業を、本件子会社に承継させることといたしました。

また、親和銀行はオリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：藤木保彦、以下「オリックス」）との間で本件子会社に対する50億円の優先株出資、人材派遣およびノウハウの提供等を内容とした契約を締結し、企業再生支援等において連携を図ってまいります。

（1）効果的な企業再生支援の実施

外部投資家が有する企業再生支援に関する多様な手法や新たなネットワーク等を活用することによって、効果的な企業再生支援の取組みが可能となり、地域経済の活性化に寄与できるものと考えております。

（2）不良債権処理の促進

外部投資家から本件子会社にもたらされる高度なノウハウや多様なネットワークは、企業再生支援のみならず、不良債権処理においても有用であり、また、親和銀行及び外部の資本導入による一定のガバナンスの下で、透明性の高い意思決定に基づき、早期の不良債権処理ならびに回収の極大化を図ってまいります。

（3）人材の育成

本件取組みを通じて、企業再生支援を実行できる人材の育成を図り、また、本件子会社に蓄積した企業再生支援にかかる技術や知識等の親和銀行グループへの還元により、グループ全体のレベルアップを図ります。

(4) 連結自己資本の増強

本件子会社では、外部投資家から50億円の資本受入れを予定しており、親和銀行グループとしての財務基盤強化を図ります。当該資本受入れにより親和銀行の連結自己資本比率は、0.3%程度上昇する見込みです。

2. 会社分割の概要

(1) 会社分割の日程

分割契約書承認取締役会	平成17年8月22日
分割契約書調印	平成17年8月22日
分割契約書承認株主総会	(簡易分割のため株主総会による承認手続きはございません)
分割期日	平成17年9月27日(予定)
分割登記	平成17年9月27日(予定)

本件子会社の商号は、分割期日をもって、親和コーポレート・パートナーズ株式会社に変更する予定です。

(2) 分割方式

分割方式

親和銀行を分割会社とし、既存の本件子会社を承継会社とする簡易・吸収分割です。

当分割方式を採用した理由

親和銀行の管理部特別管理室が所管する債務者に対する債権の集中管理と企業再生支援等を、効率的かつ迅速に進めることが可能となるため、当分割方式を採用いたしました。

(3) 株式の割当

本件会社分割により、親和分割準備株式会社の優先株式243,000株を親和銀行に割当交付いたします。

(4) 分割交付金

分割交付金の支払いはありません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

親和銀行の管理部特別管理室が所管する債務者の債権管理・再生支援・回収業務その他の関連業務に関する営業に係る権利義務を承継いたします。

(6) 債務履行の見込み

本件会社分割後においても、親和銀行が負担する債務については、履行の見込みがあるものと判断しております。

(7) 承継会社に新たに就任する役員

親和銀行から1名、オリックスから2名の役員(非常勤)が新たに就任する予定です。

3. 分割当事会社の概要

	分割会社		承継会社		
(1)商号	株式会社 親和銀行		親和分割準備株式会社		
(2)設立年月日	昭和 14 年 9 月 1 日		平成 17 年 5 月 13 日		
(3)本店所在地	佐世保市島瀬町 10 番 12 号		佐世保市島瀬町 10 番 12 号		
(4)代表者	取締役頭取 荒木 隆繁		代表取締役 廣瀬 哲朗		
(5)資本金	20,915 百万円		10 百万円		
(6)発行済株式総数	普通株式 306,671 千株 第一回優先株式 30,000 千株		普通株式 200 株		
(7)株主資本	84,507 百万円		10 百万円		
(8)総資産	2,556,571 百万円		10 百万円		
(9)決算期	3 月 31 日		3 月 31 日		
(10)従業員数	2,125 人		0 人		
(11)当事者との関係					
資本関係	/		親和銀行の 100%連結子会社。 なお、オリックスの資本参加後も、 親和銀行が引き続き議決権の 100%を保有いたします。		
人的関係			取締役・監査役的全員が親和銀行 出身。なお、オリックスの資本参 加に伴い、役員の派遣が予定され ております。		
取引関係			預金取引		
(12)最近 3 決算期間の業績	(単位：百万円)				
	分割会社				承継会社
	15 年 3 月期		16 年 3 月期	17 年 3 月期	設立初年度につき、 決算は行っており ません。
	旧親和銀行	旧九州銀行			
経常収益	43,426	28,805	66,898	73,147	
経常利益	2,203	730	35,621	17,870	
当期純利益	702	768	34,373	20,522	
1 株当たり当期純利益	3.36	4.44	112.08	66.91	
1 株当たり配当金	18.75	-	-	-	
1 株当たり株主資本	376.87	225.91	252.51	177.73	

分割会社は平成 17 年 3 月 31 日現在、承継会社は設立日現在の概要を記載しております。

4. 分割する事業部門の内容

(1) 管理部特別管理室の内容

所管する債務者の債権管理・再生支援・回収業務その他の関連業務を行っております。

(2) 譲渡資産・負債の項目および金額(平成17年7月1日現在)

(単位:百万円)

資産		負債	
項目	帳簿価格	項目	帳簿価格
現金	1,000	-	-
貸出金	31,313		
その他資産	49		
貸倒引当金	15,262		
合計	17,100	合計	-

分割期日現在における負債は、5,000百万円の見込みであります。

5. 業績に与える影響

本件会社分割により、当社ならびに親和銀行の業績予想に変更はございません。

以上